

第 3 9 回宮城県新型コロナウイルス感染症対策本部会議
第 3 6 回宮城県危機管理対策本部会議

日 時：令和 4 年 1 月 3 0 日（日）
午後 3 時から

場 所：行政庁舎 4 階 特別会議室

◇ 次 第 ◇

- 1 新型コロナウイルス感染症患者の発生状況等について
- 2 レベル判断の指標の状況について
- 3 医療提供体制等について
- 4 感染拡大防止と社会・経済活動維持のための「緊急特別要請」について
- 5 その他

＜ 配 布 資 料 ＞

- 【資料 1－1】 新型コロナウイルス感染症患者の発生状況等
- 【資料 1－2】 人流等の動向について
- 【資 料 2】 レベル判断の指標の状況について
- 【資料 3－1】 オミクロン株を含む感染拡大に備えた宮城県の医療提供体制等
- 【資料 3－2】 保健所の体制について
- 【資 料 4】 オミクロン株による”第 6 波” 対策・緊急特別要請について（案）
- 【資料 5－1】 需要喚起施策の取扱いについて
- 【資料 5－2】 認証店おうえん食事券等の取扱いについて
- 【参 考 資 料】 新型コロナウイルス感染症防止対策相談窓口のお知らせ

レベル判断の指標の状況について

資料2

レベル分類と状況等

レベル0 (感染者ゼロレベル)	新規感染者数ゼロを相当期間、維持できている状況
レベル1 (維持すべきレベル)	医療提供体制に特段の支障がない感染の水準にある状況（感染者が散発的にしか発生していない状況）
レベル2 (警戒を強化すべきレベル)	保健所などの公衆衛生体制の負荷が増大、医療提供体制への負荷が蓄積しはじめる（感染者が新増してきた状況） 2 県民に対しリスク行動回避の呼びかけ 2+ 強い措置を検討（独自時短やまん延防止措置等）
レベル3 (対策を強化すべきレベル)	相当程度、一般医療の制限が必要となる状況（感染者が急増し、公衆衛生体制及び医療提供体制の機能不全を避けるための強い措置が必要な状況）
レベル4 (避けたいレベル)	一般医療を大きく制限しても新型コロナウイルス感染症への医療に対応できない状況（最大確保病床数を超えた数の入院が必要となる状況）

レベル移行の指標及び目安

本数値は目安であり、医療提供体制や感染状況などを総合的に判断する。

医療提供体制の負荷				感染の状況
使用病床				直近1週間の新規感染者数
全県		仙台医療圏		
全体	重症	全体	重症	
10% 51床	5% 3床	10% 33床	5% 2床	直近1週間で1日平均20人以上
20% 102床	20% 11床	20% 66床	20% 8床	直近1週間で1日平均50人以上
50% 255床	50% 27床	50% 165床	50% 20床	
分母 511床	分母 55床	分母 330床	分母 40床	

オミクロン株による“第6波”対策・緊急特別要請について（案）

資料4

- ▽ 従来と大きく特性が異なる**変異株による感染急増を抑制**しながら、可能な限り**社会・経済活動を維持**するため
現行の対策に加え、**県民・事業者・学校関係者等**に対する「**緊急特別要請**」を行う（2月1日～2月28日）

第6波の特徴・傾向



【変異株の特性】

- ✓ かつてない**強大な感染力**
- ✓ 従来株に比べ**重症化率は低い**
（※ワクチン接種効果を踏まえた傾向）



【感染の場面】

- ✓ 飲食店 → **暮らしに近い場面**へ変化
（※教育・保育、福祉、職場、家庭）



【年齢層】

- ✓ **30代以下**の感染割合が増加
（特に**園児・児童・生徒**の感染拡大に懸念）



【県内全域】緊急特別要請（2/1-2/28）

▶ 基本的感染対策の徹底に加え、以下の協力を要請



① ワクチン3回目接種の加速化



② 教育・保育現場での感染防止対策の強化



③ 高齢者施設・障害者施設での感染抑止・事業継続



④ テレワーク・時差出勤等の更なる推進

飲食店への時短要請など**経済的打撃の大きい「まん延防止等重点措置」**によらず
感染拡大防止と社会・経済活動維持との両立を図る